

石狩署 銀山森林事務所・車庫棟（余市郡仁木町銀山2丁目78-1）に利用した木材に係る炭素貯蔵量（CO₂換算）

延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
65 m ²	31 m ³	23 t-CO ₂	33 m ³	25 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（CO₂換算）の量を示すものです。木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

【計算式】

木材の材積(m³)×密度(t/m³)×炭素含有率×44/12＝炭素貯蔵量(CO₂換算) (t-CO₂)

【計算】

○ 構造用製材	トドマツ	9.62	m ³	×	0.348	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	6.1	t-CO2	
○ 構造用製材	ドイツツル	0.91	m ³	×	0.409	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.7	t-CO2	
○ 構造材 土台	ベイツガ	0.56	m ³	×	0.400	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.4	t-CO2	
○ CLT 化粧柱	カラマツ	0.41	m ³	×	0.435	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.3	t-CO2	
○ 構造用合板	カラマツ	2.36	m ³	×	0.542	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	2.3	t-CO2	
○ フローリング	ミズナラ	0.18	m ³	×	0.542	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2	t-CO2	
○ 構造用製材	トドマツ	0.93	m ³	×	0.348	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.6	t-CO2	
○ 構造用製材	ドイツツル	0.41	m ³	×	0.409	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.3	t-CO2	
○ CLT	カラマツ	16.20	m ³	×	0.435	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	12.9	t-CO2	
○ CLT 梁	カラマツ	0.49	m ³	×	0.435	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.4	t-CO2	
○ スプライン合板	樹種不明	0.09	m ³	×	0.542	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.1	t-CO2	
○ 構造用合板	カラマツ	0.49	m ³	×	0.542	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.5	t-CO2	
												計	24.9	t-CO2

（責任者名） 北海道森林管理局 総務企画部 経理課 経理課長

（連絡先） TEL 050-3160-6281